

室名		①特徴・役割・使い方	②近接・隣接条件	③仕上げ	④設備・環境	⑤家具	⑥その他
憩いライブラリ 交流スペース		ソフト重視・市民交流・活動促進の観点から、来館者が施設内の様々な活動の様子を感じられるような視覚的なつながりや空間的可変性を持たせる。 参考事例）ことば蔵1Fフロア（伊丹市）、はっち（八戸市）、シリウス（大和市） ライブラリは、低年齢の子どもが利用することを想定し、 保育の基準を参考にするなど安全に十分配慮する。（指詰め・落下・ガラス類飛散防止等） 来館者用無線LAN環境を整備する。 貸館対象室の扉付近等に、予約システムに対応したタブレット等を設置する。					
【ライブラリエリア】		・利用者と職員の動線を区分してスムーズな動線と分かりやすい空間構成を行い、サイン設置等により利用者に分かりやすい施設計画とする。 ・各カウンターは管理・サービスのしやすい位置に配置し、防犯上の配慮を行う。 ・開放的な空間を創出できる天井高を確保し、仕上材は音の反射が極力少ない材質を採用する。 ・明るい空間となるよう採光計画に配慮する。自然光を積極的に取り入れつつも、直射日光により本を劣化させたり読書に不適切なグレアを発生させたりしないよう、遮光を工夫する。 ・図書等の各種資料の水損防止を考え、設備配管のルートやゾーニングに充分は配慮する。					
受付機能		・図書館スタッフを配置し、来館者に対する館内資料閲覧の補助、先端技術を用いた施設内資料閲覧用端末の貸出を行う。 ・他館所蔵の予約資料の貸出し業務を行う。 ・公園への持ち出し資料の受付業務を行う。 ・利用者登録業務を行う。 ・憩いライブラリ所蔵の資料については、公園へ持ち出す場合のみ受付業務を行う。 ・実施する各種サービスを提供できるように適宜設ける。 ・窓口には適切な台数のシステム端末を調達・設置する。	バックヤード、開架エリアに隣接させる。	なし	フロア全体の相互視認性を確保する。 市図書館システム2台(市配備)、貸出端末の充電等に必要な十分なコンセント・電源を確保する。 貸出ボックスを受付の外側に設置する。	なし	
開架エリア共通機能		・公園内ライブラリという環境を生かし、テラスとの連続性で明るく開放感のある空間とする。 ・家具や仕上げは温かみを感じられる素材・色彩を用いるなど、ゆったりと滞在できる空間づくりに配慮する。 ・静謐な読書空間ではなく、賑やかさを許容し子どもたちが気軽に本にふれあえる読書空間とする。 ・夕方以降は、若者や大人の利用したくなるような雰囲気づくりや空間演出が行えるようにする。 ・開架エリアの延長としてテラスを整備し、テラスに出て読書を楽しめるようにする。なお、テラスでの資料閲覧は受付不要とし、公園への持ち出しは、受付を経るものとする。 ・カフェスペースと融合した空間とする。 ・合計で約60,000冊を収蔵できるスペースを確保する。 ・公園への資料の持ち出しについては、無断持ち出しや資料を紛失しないように工夫をすること。	テラス、赤ちゃんふらっと、子供用トイレ、カフェに近接させる。		・適切な場所にライブラリの来館者人数を自動的に計測できる設備を設置する。 ・調光可能な照明・設備を設置する。 ・配置する席数と同等の来館者が同時に、快適にビデオ通話や動画視聴ができるインターネット環境を整備する。 ・開架書架スペースは閲覧スペースでもあることから、すべての地点において適切な卓上照度を確保する。	・災害時にも書架そのものが転倒したり書架上部から図書等が落下しないような防止策を講じる等、緊急時に混乱を招かないような安全な空間構成とする。 ・下足部分について車いす利用者がどの書架にも容易にたどり着けるよう、歩行者とのすれ違いが可能な書架・家具配置とする。（下足部分は開架エリアのうち、閲覧コーナー（小さい子用）を除く範囲を示す） ・滞在型の図書館であることに鑑み、テーブル席、スツール席を適宜配置する。また、書架の間にも、読書席（イスのみ）を配置する ・椅子や机の高さは、あらゆる年代層や車いす利用者等の利用を想定した仕様とする。	・バリアフリーに配慮し音声案内ならびに点字表示板を配置する。 ・テラスへの出入口（風除室）を設ける。 なお、扉は自動ドアとする。 ・検索表記等（インデックス）の文字も大きくする等、弱視や老眼、あるいは身長の高・低、車椅子使用の有無等に関わらず利用しやすいように、十分に配慮する。
	閲覧コーナ （小さい子用）	主に未就学児が靴を脱いで、柔らかな床の上や低いスツールで自由な姿勢で読書できる。（小学生以上・大人の利用も可） 乳幼児のほふくが見守れる空間とする。	なし	乳幼児の匍匐、転倒ならびに清潔保持に配慮した柔らかい床材とする。 （例：江東区立豊洲図書館キッズコーナークッション床）	なし	角の無い、軽いもの。自由に動かせるソフトな感触の腰掛用スツールを設置。 くつばこを設置する。	なし
	閲覧コーナ	大人も子どもも楽しめるゆったりした読書環境の提供。来館者が節度を持った飲食をしながら閲覧ができる空間とする。	カフェに近接させる。		十分な照度を確保できる照明・電源とする。	車いす対応テーブルの配置する。 （手元が見やすいように照明を付ける、テーブルにより飲食可能サインの設置）	なし
	朗読コーナ （おはなしスペース）	閲覧コーナーと、遮光カーテン等で簡易に空間を区切り、外界から遮断されておはなしに没入できるスペースとする。	小さい子用閲覧コーナー内に設ける。	なし	調光可能な照明とする。	遮光カーテン（洗濯可能なもの）等による区分けを必要とする。	なし
	自習スペース機能①	・学生から大人までが静かな環境で自習や仕事、作業等をする。1畳程度で仕切られた部屋、間仕切りで仕切られた部屋、フリースペースなど、在宅勤務や執筆活動、数名での勉強など様々な利用方法を想定する。 ・利用者が無料で利用できる自習スペース。	エントランスホール付近にしない。		スマホ等の充電用コンセントを設置する。 手元に適切な照度を確保する。 外部からの音を遮断する遮音性能を備える。 配置する席数と同等の来館者が同時に、快適にビデオ通話や動画視聴ができるインターネット環境を整備する。	個人席とテーブル席を設ける。 自習スペース②と合わせて机・椅子約105席を想定。 机・椅子は自習スペース、ライブラリ開架エリア、カフェ、エントランス含めて施設全体で300席以上とする。 可能な限り可動式の机・椅子を配置する。	ソフト重視の観点から、活動の様子が廊下等から窺えるようにする。
	図書仕分室機能	他館から届いた予約資料等の仕分けを行う。	受付カウンターに隣接する。	なし		書架	

室名						
	①特徴・役割・使い方	②近接・隣接条件	③仕上げ	④設備・環境	⑤家具	⑥その他
バックヤード機能	図書の修理・選書・装備を行う。職員・ボランティアの控室を兼ねる。	受付カウンターに隣接する。	なし	電源、図書館システム（市配備）2台設置		なし
【交流エリア】						
エントランス （フリースペース）	・平時は、オープンスペースとする。 ・誰もが自由にアクセスできる大空間とし、屋外や各施設との連続性を感じられるような開放的な空間構成とする。 ・施設のにぎわいを演出できる工夫をする。 ・実施中の催事を紹介する設えとする。 ・メインエントランスとする。 ・建物を2階以上とする場合は、来館者が円滑に上階に移動できるよう、昇りエスカレーターを設置する。	なし	なし	催事を踏まえた安全性や利便性の観点から、電源等を適宜配置すること。 来館者数を計測できるような機器を設置する。	平時の休憩用の椅子等を設けること。	・バリアフリーに配慮し音声案内ならびに点字表示板を配置する。 ・催事の際には、移動の待合空間として、十分な滞留スペースを確保する。 ・受付や飲食等が可能な休憩できるスペースを設ける。 ・共用部にボルダリング体験ができる部分を設けるように努める。 ・市民が制作した作品の展示を行う。
自習スペース機能② （テレワーク・コワーキングスペース含）	・学生から大人までが静かな環境で自習や仕事、作業等をする。1畳程度で仕切られた部屋、間仕切りで仕切られた部屋、フリースペースなど、在宅勤務や執筆活動、数名での勉強など様々な利用方法を想定する。 ・利用者に有料で貸し出す。	入口付近にしない。 自習スペース①と隣接させる。		スマホ等の充電用コンセントを設置する。 手元に適切な照度を確保する。 外部からの音を遮断する遮音性能を備える。 配置する席数と同等の来館者が同時に、快適にビデオ通話や動画視聴ができるインターネット環境を整備する。	個人席とテーブル席を設ける。 机・椅子 約105席を想定。 ※机・椅子は自習スペース、ライブラリ開架エリア、カフェ、エントランス含めて合計300席以上を想定。 可能な限り可動式の机・椅子を配置する。	ソフト重視の観点から、活動の様子が廊下等から窺えるようにする。
ボランティア室機能	市民団体のボランティアや施設のボランティアスタッフの休憩、待機、打合せ場所として使用する。		なし	流しを設置する。 2以上のグループが同時に使用できる空間とすること。 移動間仕切りを設置する場合、流しを共用できるよう配慮すること。		ソフト重視の観点から、活動の様子が廊下等から窺えるようにする。
スタジオ機能①	ヨガ教室・ダンス等を行う場としての使用のほか、多様な用途に使用できるスペースとする。	他室に音・振動等が漏れないように配慮する。（上下階の室との配置も考慮する）	床は軽運動に耐えられる仕様とする。 上足での利用を基本とする。	ダンス等を想定した、AV機器（音響・映像設備）を備え、貸し出しする。 照明を暗転できるようにする。 室内の音が外部に漏れないよう配慮する。	なし	なし
スタジオ機能②	市民活動団体による自主活動の場。 大学生による小・中学生への学習支援や受験期に小・中学生がグループや個人で学習できるスペース（無料開放）。 集客イベント・小規模講演会などに使用できる（有料貸出）。 学校対応やイベント時の使用を優先とする。	なし	床は軽運動に耐えられる仕様とする。	講演等を想定した、AV機器（音響・映像設備）を備え、貸し出しする。 室内の音が外部に漏れないよう配慮する。		ソフト重視の観点から、活動の様子が廊下等から窺えるようにする。
カフェ機能 （調理スペース含）	憩いライブラリの図書を読みながら、カフェで滞在することも可能とする。 こどもから大人までゆったりできる空間とする。 ライブラリの開架エリアとカフェスペースは、区切ることなく融合させた空間とする。 時間帯の変化にあわせた雰囲気や空間デザインを創出すること。 火災に配慮し、厨房熱源は裸火を不可とする。	・ミュージアムを公開承認施設とすることを考慮し、飲食物をミュージアム区域に持ち込まない運用とする。	なし	・トイレは、施設と共用も可とする。 ・自然光を取り入れやすい場所に可能な限り、配置すること。 ・厨房設備。食材の匂いが館内に拡散しないよう配慮する。 ・客席数と同等の来館者が同時に、快適にビデオ通話や動画視聴ができるインターネット環境を整備する。	・親子連れが過ごしやすいよう家具の選定・配置を行う。 ・個人向けの席のほか、グループでの利用を考慮したレイアウトとすること。 ・様々な利用用途に適し、長時間滞在できる上質な家具を設置する。	可能な限り、公園を一望できる場所に配置すること。 ミュージアム・ライブラリの閉館時の営業も可能であればなおよい。
【来館者エリア】						
風除室	・障がい者の方が不自由なく入れるよう配慮すること。 ・扉は自動ドアとする。 ・車いすで利用者等に配慮し段差等がないこと ・視覚障がい者に配慮し、ドアの開閉時等に音が鳴る装置等を設置することが望ましい。	最低1か所は、エントランス（フリースペース）に繋がる場所とし、自動ドアで配置すること。	滑りづらい床材を使用	なし	出入口付近に、傘立てスペースを確保する。傘立てスペースを屋外とする場合、屋根等で雨に濡れない場所に設ける。 ・傘袋等のごみが生じないよう、環境負荷に配慮する。（傘袋以外の方法等）	
受付	・チケット販売、車椅子及び荷物（ベビーカー等）の貸出・預かりに対応する ・障がい者への対応（筆談・指差しサイン表示等）を行う。 ・クローク機能を兼ねる ・交流スペースの貸館に対応する。 ・ミュージアムの受付機能（発券・レファレンスや体験学習の申し込み・展示に関する質問受付など）を兼ねる	エントランスから視認しやすい位置に設ける	なし	館内放送ができる設備を設けること。	カウンター キャッシュレス決済対応レジ	

室名	①特徴・役割・使い方	②近接・隣接条件	③仕上げ	④設備・環境	⑤家具	⑥その他
コインロッカー	ライブラリ及び郷ミュージアムの利用者の利用を主目的とする。 公園で遊ぶために持参したおもちゃや、マザーズバックを入れて館内利用をする家族の利用を想定 上記の利用を想定し、適宜必要箇所に設ける。	憩いライブラリ及び郷土・資料ミュージアムの入口付近に設置すること。	なし	なし	なし	館内に設置するコインロッカーは、無料とする。（コイン返却型などを想定） スーツケース等の大型荷物も保管できること。
エレベータホール	・大規模展開催時に対応できる十分な滞留スペースを確保する ・エントランスや展示室からの視認性に配慮する。（視覚障がい者や車いす利用者への配慮をすること。）	なし	なし	人物用と荷物用をそれぞれ設けること。 ※荷物用EVは、職員エリアのみ	なし	なし
来館者トイレ	・利用しやすい場所に配置し、すべての利用者がアクセスしやすい構造とし、利用者が位置を把握しやすく利用しやすいものとする。 ・災害時は、簡易トイレを用いて使用することを想定する。（外構諸元表・防災機能-防災トイレ参照）	各施設利用者がアクセスしやすい場所に設置することとする。フロアごとに設置すること。	床面は滑りにくい材料・仕上げとする。また転倒したときの危険防止のため適度に弾性のあるものとする。	・水栓金具は、光感知式等、操作の容易なものを導入する。 ・腰掛便座とし、床置き便器又は壁掛式便器とする。 ・腰掛便座は、温水洗浄便座（温水でおしり等を洗浄する機能を持つ腰掛便座）とする。 ・腰掛便座の横壁面に、ペーパーホルダー、便器洗浄ボタン、呼び出しボタンを設け、JIS S 0026に基づく配置とする。 ・呼び出しボタンは、腰掛便座に座った状態で手が届く位置に設ける。また、床に転倒したときにも届くよう、側壁面の低い位置にも設ける。 ・水石鹸を設ける。 ・女子トイレの便器には擬音装置を設ける。 ・各ブースに便座除菌クリーナーを設ける。	・ベビーチェア、ベビーシート、荷物を置くスペースを設ける。	・床面は、高齢者、障がい者等の通行の支障となる段を設けないようにする。 ・施錠を示す色等は、視覚障害者の利用に配慮したものとする。 ・腰掛便座の壁側に手すりを設け、水平、垂直に取り付ける。 ・小便器には、手摺を1箇所以上設ける。
子供用トイレ	公園・ライブラリ双方に使いやすい場所に独立した子供用トイレを整備する。	公園・ライブラリに近接させる。	なし	・水栓金具は、光感知式等、操作の容易なものを導入する。 ・水石鹸を設ける	なし	1-2歳児向け、3-5歳児向けなど年齢に応じた便器・小便器を設置する。 （八王子駅のセレオのようなイメージ）
多目的トイレ	階毎に設置			・オストメイト対応とする ・水石鹸を設ける ・便座除菌クリーナーを設ける	・ベビーチェア、ベビーシート、荷物を置くスペースを設ける。	・床面は、高齢者、障がい者等の通行の支障となる段を設けないようにする。 ・施錠を示す色等は、視覚障害者の利用に配慮したものとする。 ・腰掛便座の壁側に手すりを設け、水平、垂直に取り付ける。 ・腰掛便座の両側に手すりを設ける場合には、介助等を考慮、片側の手すりは跳ね上げ手すりとする。
乳幼児に対する休憩室及び授乳室機能	東京都の赤ちゃん・ふらっと事業実施要領に基づいて整備する。 男性が入れない授乳ブースを設置。 乳児・低年齢の幼児連れの来館者が利用するスペースとする。 授乳・おむつ替え・持参したお弁当を食べる場所として整備する。 おむつ替えスペースと食事スペースは可能な限り離す。 2以上の授乳ブースを設ける（公園は1個以上とする） おむつ替えスペースは、靴を脱いで上がる更衣スペース（パンツ式おむつ、公園で汚れた子を着替えさせられる）も設ける。 子供用トイレを併設する。	こども用トイレ又はトイレ、ライブラリ開架エリアに近接させる。 授乳室とその他施設を分ける場合には、両者を近接させる。	乳児・幼児の安全面に配慮した床材とし、滑りにくい仕上げとする。 床面は、乳児や幼児の通行の支障となる段差を設けないようにする。 下足利用を基本とする。	明るい照明とし、抗菌・防臭設備、電源・調乳用温水器を備える。 授乳用の給湯設備（男性入場可）：粉ミルク用の給湯器（蓋付き、70℃給湯）を設置し、隣に哺乳瓶洗浄のためのシンク（水道付き）を設置する。 授乳室にベビーカーごと入れるような広さにする。	授乳ブースは、男性が入れないよう仕切りを設け、内部の使用状況が分かるようにする。室内に長椅子（ひじ掛け付き）及び荷物置き場を設置する。また、授乳室内にベビーカーが入れるスペースを確保する。 おむつ交換台を3台以上配置し、間に荷物置き台を設置する。 立った状態でトレーニングパンツ用の交換台を1台設置する。おむつ交換台下にそれぞれゴミ箱（蓋つき）を設置する。 靴を脱いで上がる更衣台を設置する。	おやつや離乳食、ジュースなどの自動販売機を設置する。
更衣室機能	ヨガ教室やダンス等にて使用する	スタジオに近接すること。		5人以上が同時に着替えられる棚を男性用・女性用それぞれ設置する。		男性用・女性用をそれぞれ設ける
【職員エリア】						
会議室兼応接室	30名程度で利用できるようにする。			無線LANインターネット接続（職員用）		

室名	①特徴・役割・使い方	②近接・隣接条件	③仕上げ	④設備・環境	⑤家具	⑥その他
事務室 （作業室、ワークスペース含）	事業者、職員の執務スペースとする。 ワークスペース、作業室、休憩スペースを含み、来館者の救護も、事務室で対応する。 交流スペースの貸館等の来館者対応は受付にて行うこととするが、事務室を来館者共用部に隣接させて、受付機能を兼ねる形としてもよい。	更衣室、給湯室に近接とし、来館者共用部との動線計画に配慮する。		OAフロア（電源、市情報ネットワーク回線配備、図書館システム） 無線LANインターネット接続（職員用）	事務用片袖机	労働安全衛生法（事務所衛生基準規則）を遵守するものとする。
資材庫	各種消耗品、販売物品在庫保管	博物館バックヤードとの動線確保	なし	なし		なし
更衣室（男女）	事業者、職員が利用する。男女別に設ける。	事務室に近接すること。事務室内の配置も可。	なし	手洗いを設置する		労働安全衛生法（事務所衛生基準規則）を遵守するものとする。
給湯室	事業者、職員等の想定を利用する。	事務室に近接すること。事務室内の配置も可。	なし	流し、手洗い場、湯沸かし器を設置する。	なし	なし
トイレ	職員、準備室利用者等が利用する。	なし	なし	なし	なし	なし
警備員控室	施設共通とする。 ※公開承認施設の要件ではないが、施設（公園含む）の安全確保上設置する方針とする。	なし	なし	なし		なし
清掃員控室	清掃委託業者が使用する。 施設共通とする。	施設利用者の動線になるべく被らない位置とする。	なし	流し		なし
清掃用具倉庫	清掃委託業者が使用する。 施設共通とする。	清掃員控室に隣接	なし	流し、洗濯機置場	ラック	なし
ごみ集積所	・施設共通とする。 ・一般廃棄物、産業廃棄物、資源物で分別できるようする	ごみ収集車が収集しやすい場所かつ来客動線からは見えにくい場所に設置する。 別棟としてもよい。	なし	流し	なし	廃棄物の適正処理及び再生利用等を行うことで、環境へ配慮をする
管理用廊下						
屋外用倉庫	公園で使用する資器材を保管する。 建物本体に組み込む、独立して設置、公園内屋外トイレに併設いずれの形式でもよいが、使い勝手や動線に配慮する。 別棟とする場合、建物のデザインや公園のランドスケープと調和するようにする。	なし	なし	流し	なし	なし
防災倉庫 （一時滞在施設用）	発災時の一時滞在施設として利用する際に必要な防災備品を保管する。  車両動線（4tトラックを想定）に配慮する。 単独の部屋とせずに施設の一般倉庫と共用としてもよい。 備蓄品の調達・管理は、本市（防災課）が行う。 災害時は事業者が運用を行う。 市指定の鍵を使用すること。	別棟とはせずに、建物本体に設けることが望ましい。（発災時に防災物品を建物内で利用するため） 車両動線から倉庫への搬入を考慮し出入口を設ける。	未定	なし		収納棚は、「別添資料30 一時滞在施設用倉庫備品リスト」、「別添資料31 他施設の防災倉庫の棚仕様」に基づき設置する。 運用に先立ち、事業者において倉庫内の見取図を作成し、本市防災課に提出すること。
倉庫	ミュージアム、ライブラリ、交流スペース等、施設共通の倉庫とする。	車両動線から倉庫への搬入を考慮した位置とする。	未定	なし	収納棚を設置する。	運用開始後、事業者にて物品の見取図を用意する。
設備関係諸室	施設共通で設備を管理する機械等を設置する。	外から直接、メンテナンスや機械の入替ができる位置とする。	なし	非常用発電機を設ける ※屋外設置も可とする	なし	浸水対策を講じる
事業者提案余地	事業者提案余地は、事業者の任意提案により整備する部分をいう。事業者の提案する運営や八王子のシンボルとしてより魅力ある施設整備を実現するための提案を求める。 なお、提案する施設は、以下に示すいずれかの要件を満たさなければならない。 ①「憩いライブラリ」の役割・魅力・機能等を向上させるもの ②「交流スペース」の役割・魅力・機能等を向上させるもの					

室名		①特徴・役割・使い方	②近接・隣接条件	③仕上げ	④設備・環境	⑤家具	⑥その他
歴史・郷土ミュージアム		○歴史・郷土ミュージアムの施設整備にあたり、博物館法及び文化財保護法の趣旨を理解した上で、次にあげる基準等を順守すること。 ・博物館の設置及び運営上の望ましい基準 ・文化財公開施設の計画に関する指針 ・文化財（美術工芸品）保存施設 保存活用施設 設置・管理ハンドブック ・国宝・重要文化財の公開に関する取扱要項 ・重要文化財の所有者及び管理団体以外の者による公開に係る博物館その他の施設の承認に関する規定 ・重要文化財の所有者及び管理団体以外の者による公開の許可に係る基準 ・有形文化財（美術工芸品）の展示を主体とする美術館または美術工芸品を多く取扱う博物館等の施設設置に関する基準について ・文化財の生物被害防止に関する日常管理の手引 ・文化財（美術工芸品等）の防災に関する手引 ・美術館・博物館のための空気清浄化の手引き ○展示品や収蔵品の各種資料の水損防止を考え、設備配管のルートやゾーニングに充分は配慮する。					
【収蔵エリア】							
収蔵庫 共通		資料の保存・管理を行う。 公開承認施設として機能し得る空間とする。	火元近接厳禁。 博物館バックヤードとの動線確保する。	入口は1階からフラットで入れるようにする。 調湿性能のある仕上げを用いる。	収蔵庫は2層構造とする。 24時間温湿度管理、空調機は点検や故障時も常時運転している必要があるため、冗長化構成とする。 ・耐荷重設定500kg/㎡ ・有機酸やアンモニア等、資料に有害な物質を低減した空気環境とする。 ・十分な断熱性能とする。 ・外光や外気が直接入らないようにする。 ・効率的な資料搬入動線を検討。 ・ガス消火設備を設ける。 ・虫などによる生物被害対策の徹底を行う。 ・内壁と躯体との間に空気層を設けた二重床壁天井構造とし、空気層を空調する。 ・最上階に位置した場合も、外気や雨水の影響を受けないよう配慮する。 ・収蔵庫・前室扉は日本セーフファニチュア協同組合連合会規格を満たす。 ・収蔵庫には、耐火扉とは別に木製戸を設ける。 ・温湿度データロガー。	マルチ運搬台車2台	監視カメラにて24時間監視する。
	収蔵庫① （特別収蔵庫）	国宝・重要文化財の一時収蔵、古文書、木工品類、漆工芸品、絵画を保存管理する。	前室を設ける。	二重壁 木製の2重床（下地は鋼製でも可） 壁及び天井は内部吸湿性のある素材貼	収蔵庫上部にはメザニンラックを設置すること。（※一部1層構造とし、長尺の資料を保管できるスペースを確保する） 24時間温湿度管理（温度：22±1℃、湿度：50～60％） 扉は二重扉とし、庫外の火災時において、下記の時間以上庫内温度を80℃以下に保つ耐火扉（幅2500mm×高さ2500mm以上）と床・壁・天井で囲む。 ・前室―廊下間＝2時間耐火収蔵庫扉 ・前室―収蔵庫間＝30分耐火収蔵庫扉、間仕切り付き	・耐震性の高い収蔵棚とする。 ・スチール棚スノコ棚4段150kg。	
	収蔵庫② （収蔵庫）	金属類、衣類、繊維製品、民具（コレクション）を保存管理する。	前室を設ける。	二重壁 二重床 内部吸湿性のある素材貼	収蔵庫上部にはメザニンラックを設置すること。 24時間温湿度管理（温度：22±2℃、湿度：40～45％） 扉は二重扉とし、庫外の火災時において、下記の時間以上庫内温度を80℃以下に保つ耐火扉（幅2500mm×高さ2500mm以上）と床・壁・天井で囲む。 ・前室―廊下間＝2時間耐火収蔵庫扉 ・前室―収蔵庫間＝30分耐火収蔵庫扉、間仕切り付き	・耐震性の高い収蔵棚とする。 ・刀剣整理棚を設置する。 ・スチール棚スノコ棚4段150kg。	なし
	収蔵庫③ （収蔵庫）	フィルム・写真類を保存管理する。 外気の流れから極力遠ざける。	前室を設ける。	二重壁 二重床 内部吸湿性のある素材貼	24時間温湿度管理（温度：18±2℃、湿度：20～30％） 収蔵庫二重扉 扉は二重扉とし、庫外の火災時において下記の時間以上庫内温度を80℃以下に保つ耐火扉（幅2500mm×高さ2500mm以上）と床・壁・天井で囲む。 ・前室―廊下間＝2時間耐火収蔵庫扉 ・前室―収蔵庫間＝30分耐火収蔵庫扉、間仕切り付き		

室名		①特徴・役割・使い方	②近接・隣接条件	③仕上げ	④設備・環境	⑤家具	⑥その他
	収蔵庫④ (収蔵展示室)	資料を保管しつつ、以下①～③の収蔵スペースの一部を公開し見学できるようにする。 ①考古資料のうち「井上コレクション」の収蔵展示スペースを確保すること。 ②民俗資料（養蚕道具や木製の民具）の収蔵展示スペースを確保すること。また、八王子の養蚕農家の居室の一部を再現する。屋根や外壁面はつくらず居室の内部空間のみの再現とし、外から見えるような空間づくりを行う。間口4間程度（約7～8m）、奥行きは3間程度（5～6m）を想定し、収蔵庫の2層構造を利用して2階部分にも上がれるように工夫する。再現空間内部で養蚕道具を実際に触って体験してもらう。 ③自然史関係の標本箱や剥製の収蔵展示スペースを確保すること。	前室（35㎡程度、収蔵庫面積430㎡を含む）を設ける。 前室より「①考古資料②民俗資料の空間」と「③自然史資料の空間」それぞれに出入りできるように工夫する。	泥等を落としやすい、モップ等による水拭き可能な床面とすること。	収蔵庫上部にはメザニンラックを設置すること。 （環境再現展示の養蚕農家の二階部分床については市・学芸員と協議の上決定する） 24時間温湿度管理 温度：22±2℃、湿度：40～50％ 扉は二重扉とし、庫外の火災時において下記の時間以上庫内温度を80℃以下に保つ耐火扉（幅2500mm×高さ2500mm以上）と床・壁・天井で囲む。 ・前室―廊下間＝1時間耐火収蔵庫扉 ・前室―収蔵庫間＝30分耐火収蔵庫扉、間仕切り付き		共用通路から見学可能なように、壁面の一部をガラス張り（1時間耐火）とするなどの工夫をおこなうこと。
	収蔵庫前室	資料を収蔵庫に出し入れする際の確認を行うため、作業台を置くスペースを確保すること。	収蔵庫、荷解き室に隣接する。 （1つの前室から4つの収蔵庫にアクセスできる必要はない。前室から収蔵庫に入り、別の収蔵庫にアクセスすることも可）	二重壁 二重床 内部吸湿性のある素材貼	温湿度を一定に保てるようにする 温度：22±2℃、湿度：40～50％ 扉は、庫外の火災時において2時間以上庫内温度を80℃以下に保つ耐火扉（幅2500mm×高さ2500mm以上）と床・壁・天井で囲む。	なし	外気が直接入らないようにすること。
	トラックヤード (屋内)	資料の搬入・搬出を行う。 4トントラックが入り、なお周辺で作業できる入れる高さ、幅を確保する。 資料の新規搬入時及び年1回程度、館内で燻蒸や生物被害防除処理を行うため、燻蒸用テントを設置し、燻蒸を行う。	荷解室と外部に隣接する。	水洗可能な床面仕様とすること。			・外部および荷解室とはシャッターと通用扉を設ける。 ・シャッターは電動とし、停電時にも運転が可能なよう非常用発電機からの電源供給を確保する。 ・外部のレベルとプラットホームのレベルが異なり段差がある場合は台車用スロープを設ける。 ・外部のレベルとプラットホームのレベルが異なり段差がある場合はW3000mm×D2500mm（程度）耐荷重3000kg程度の昇降台（テーブルリフター）を設ける。 ・荷解室からEVの扉まではできるだけ屈曲せずに搬入できる動線とする。
	荷解室	資料の搬出入の確認および一時保管を行う。	トラックヤード、収蔵庫前室、人荷用EVに隣接する。	汚れの取りやすい床面張りとすること。	資料運搬用エレベーターを設置。 中重量用3,000～4,000kg、 かご内寸W3000×D4500 出入口寸W3000×H2500 ミュージアムとライブラリそれぞれへの動線を確保するとともに、ミュージアムへの動線をセキュリティ区画でできるよう計画する。なお、資料運搬用エレベーターについてはライブラリの搬出入との兼用も可とする。		外気に直接触れないようにシャッター、扉を設けること。 床レベルは、必ずしもトラック荷台に合わせる必要はない。

室名	①特徴・役割・使い方	②近接・隣接条件	③仕上げ	④設備・環境	⑤家具	⑥その他
【展示エリア】						
展示室 共通	歴史資料の展示を行い、市内外へ郷土の歴史と魅力を発信するとともに、市民の郷土学習や生涯学習の場として役立てる。公開承認施設として機能し得る空間とする。多様な展示に対応するため出来る限り独立した柱等がない空間とする。	バックヤードとの動線確保する。	床面は滑りにくい材料・仕上げとする。また転倒したときの危険防止のため適度に弾性のあるものとする。滑りにくく靴音が響きにくい材料・仕上げとする。	資料への負荷が少なく、調光可能なLED照明 天井可動式スポットライトを設置。 温湿度管理ができる空調設備（資料にあわせた最適な温湿度が保てるようにする） 有機酸やアンモニア等、資料に有害な物質を低減した空気環境。 常設展示室の入口に来館者の目に留まるような最新技術を用いた演出を行う。八王子の歴史を古代から現代までたどるような演出がのぞましい。 常設展示室と特別展示室・企画展示室の入口に、チケット改札機能をもたせること。また、常設展示室内や特別展示室・企画展示室内で区画を分けてそれぞれで開催する場合でも対応できるようにすること。区画した場合の改札機能については、本来機能を満たすものであれば簡易的なものでも可とする。 来館者用無線LAN（300名程度が同時にアクセス）盗難等を防止するため常設展示室・特別展示室に死角がないように監視カメラを設置すること。 展示照明は、下記に配慮する。 ・照射物（展示品）の損傷を低減できる器具とする（LED照明を基本とし、個別調光機能を有すること） ・ライティングダクトは、壁面（移動間仕切りを含む）に展示された展示物を照射する照明配置の微妙な調整が可能となるように設ける ・ライティングダクトの負荷容量は4基/mのスポットライトが設置可能な容量を確保する ・ベース照明は展示計画を妨げないデザイン、照射方法とする ・映像作品等の展示にも対応できるよう十分な電源と配電盤からの配線ルートを確保する コンセントについて、床面積25㎡に1か所以上配置し、負荷容量は1500VA/箇所以上とする。	・展示ケース、展示台、休憩用ソファなどを設置する。 ・展示工事は事業範囲内とする。 ・壁面ケース及び覗きケースは全ての展示室に設置する 壁面展示ケースの仕様は別添資料6「壁面展示ケース 基準仕様書」参照のこと。	・積載荷重設定：500kg/㎡ ・十分な断熱性能 ・資料保存のため、外光や外気が直接入らないようにする。 ・できるだけ柱が少ない空間を目指す。 ・来館者動線と資料搬入動線とを分ける。 ・来館者導線は見学のしやすさを重視すること。 ・来館者用出入口は自動ドアとする。

室名		①特徴・役割・使い方	②近接・隣接条件	③仕上げ	④設備・環境	⑤家具	⑥その他
	常設展示室① (通史展示ゾーン)	<p>調査・研究活動、収集・保管活動により得られた成果に基づく実物資料を積極的に活用し、大型の壁面展示ケースを設置して、八王子の歴史を原始・古代から近現代まで歴史の流れを感じながら観覧できる展示とする。</p> <p>学校団体（社会科見学）をはじめ市内外の幅広い層に、八王子の歴史文化の特徴をわかりやすく紹介するため、体験展示や内部に入ることができる環境再現展示を組み込む。</p> <p>とくに環境再現展示では、例えば原始・古代の住居、江戸時代の八王子宿の旅籠、戦前の八王子の農家、高度経済成長期の八王子の公団住宅の一部を再現する。詳細については市側と協議をおこなうこと。</p> <p>常設展示室は、常設展示室①通史展示ゾーンと常設展示室②テーマ展示ゾーンで区切るため境に壁（もしくは壁に準ずる区切り）を設けるなどの工夫をおこなうこと。ただし常設展示室①と常設展示室②で行き来ができるように出入口を設けることとする。</p>	バックヤードとの動線確保する。	二重床	<p>・入口に自動扉と風除室を設けるなど、展示室外の温湿度変化の影響を受けないよう工夫すること。</p> <p>・大型壁面展示エアタイトケース（照明・温湿度調整機能付）2台程度と、移動可能な展示ケースを設置できる展示空間を確保する。</p> <p>※別添資料6「壁面展示ケース基準 仕様書」を参照し、寸法と数については市側と協議のうえ決定する。</p> <p>・環境再現展示（復元展示）の時代感、雰囲気損なわない照明デザインを行うこと。</p> <p>・復元展示4種類①～④を製作すること。</p> <p>①八王子の原始・古代の竪穴住居をほぼ原寸大の断面で再現する。考古学関連の体験ができるスペースを前面に設けること。</p> <p>②江戸時代の八王子宿の旅籠の間口部分を復元し内部に入ることができるようにする。店先部分のみ忠実に再現する。内部では衣装貸出や江戸時代の道具（レプリカ）の体験コーナーや映像の視聴端末を設けるなど工夫すること。</p> <p>③八王子の戦前の農家の一部を復元し内部に入れるようにする。間口はつくらず断面の復元で正面から中が見られるようにする。土間（台所）と囲炉裏の部屋を程度確保すること。</p> <p>④高度経済成長期の八王子の公団住宅のダイニングキッチンを内部に入れるようにする。③と④は比較をおこなうためできるかぎり隣接していること。</p> <p>※別添資料5「什器・備品リスト」を参照し、市側と協議をおこなうこと。</p> <p>・人数カウンター。</p> <p>・盗難等を防止するため死角がないように監視カメラを設置すること。</p>	<p>・導入エリアに八王子宿（八王子宿と千人町）の精巧なジオラマ、もしくはジオラマに準ずる最新技術を用いた模型等を設置する。明治時代以降のまちの変化についても映像等の技術で表現し、ジオラマ4方向から数名が同時に操作できるよう工夫する。</p> <p>・ジオラマ・模型の作製</p>	・環境再現の時代考証として八王子の家屋に詳しい人員を協議のうえ1名程度つけること。



室名		①特徴・役割・使い方	②近接・隣接条件	③仕上げ	④設備・環境	⑤家具	⑥その他
	常設展示室② （テーマ展示ゾーン）	調査・研究活動、収集・保管活動により得られた成果に基づく実物資料を積極的に活用し、豊富な八王子の歴史文化の特徴をPRするため多様なテーマ展示を展開する。各時代でテーマを設定することで歴史の流れも同時に理解できるように工夫する。 年2回以上、常設展示室②（テーマ展示ゾーン）内において指定管理者が企画する展示を実施するため300㎡程度の展示スペースを確保すること。 企画実施中は常設展示室②の展示ケースは展示設備保存庫等に収納し、展示資料は収蔵庫に保管する。企画内容は指定管理者が提案をおこない、決定にあたっては市側が審査をおこなうこととする。	展示設備保管庫2に隣接する。	二重床	・入口に自動扉と風除室を設けるなど、展示室外の温湿度変化の影響を受けないよう工夫すること。 ・大型壁面展示エアタイトケース（照明・温湿度調整機能付）1台と、移動可能な展示ケースを設置できる空間を確保する。 ※別添資料6「壁面展示ケース 基準仕様書」を参照し、寸法と数については市側と協議のうえ決定する。 ・吊下げ式展示パネル（可動式壁）を設置すること。寸法と数は300㎡程度の空間を3区分程にわけられる程度とし、市側と協議のうえ決定する。 ・人数カウンター ・盗難等を防止するため死角がないように防犯カメラを設置すること。	・ジオラマもしくは模型の作製 ・環境再現展示の備品や、ジオラマ等の作製については別添資料5「什器・備品リスト」を参照し、作製にあたっては市側と協議を行うこと。	空間を3部屋に小分けができる可動式壁（移動式間仕切り）を設置する。1部屋もしくはは2部屋で使用するなどの可変性を考慮すること。移動間仕切り厚150mm程度で、上端にピクチャーレールを備え、釘打ち可能なものとする。 展示作業や資料搬入に支障をきたさないよう、搬入ルートとなる扉をすべての小部屋に確保すること。
	特別展示室・企画展示室	年2回市側が企画する特別展を実施する。5年に3回は国指定の文化財の貴重な資料展示を行う。 そのほか市側が企画する企画展示を実施する。可動式壁を設けることで展示室内を区切って使用することを考慮に入れる。	・展示設備保管庫1及び荷解き室に隣接する。搬入経路に段差を設けない。 ・荷解き室からの展示品の搬入が特に円滑になるよう、動線・配置に配慮する。	二重床	国の公開承認施設の展示場要件に合致すること。  特別展示と企画展示の開催に対応できるよう、入口にチケット改札とゲートを設置する等工夫すること。 可動式間仕切りで区切られてもバックヤード側から出入できるよう、出入口を2箇所用意すること。  大型壁面展示エアタイトケース（照明・温湿度調整機能付）3台と、移動可能な展示ケースを設置できる空間を確保する。 ※別添資料6「壁面展示ケース 基準仕様書」を参照のこと、寸法については協議のうえ決定する 吊下げ式展示パネル（可動式壁）を設置すること。寸法と数は展示室内を2区分程にわけられる程度とし、市側と協議のうえ決定する。 ・人数カウンター ・盗難等を防止するため死角がないように防犯カメラを設置すること。		特別展示室は可動式壁（移動間仕切り）により、2区画の小部屋に分けられるようにすること。 1部屋で使用するなどの可変性を考慮すること。移動間仕切り厚150mm程度で、上端にピクチャーレールを備え、釘打ち可能なものとする。  展示作業や資料搬入に支障をきたさないよう、搬入ルートとなる扉をすべての小部屋に確保すること。
	キッズスペース機能	未就学児童を対象に学びや遊びを提供する。 体験展示室の体験講座に参加する年齢層よりも低い層（未就学児）を対象としたスペースで、遊具は高尾山や八王子城をイメージしたものにするなど八王子の歴史との関連性を大切にしたい空間づくりとすることが望ましい。 親が遊んでいる子どもを見守るスペースも確保すること。	体験展示室と隣接するのが望ましい。	清掃の容易な床仕上げ	未就学児用の流し台（手洗い）1台 蛇口数は1～2程度 大人用の流し台（手洗い）1台 蛇口数は1～2程度 未就学児童や小学校低学年を対象にした設備を提案すること。 親子連れの休憩スペースとしても活用できる空間づくりのための設備を提案すること。		壁の一部をガラスとする等、共用部から内部の様子が見えるようにすること。 移動間仕切りを設け、体験展示室と連結して規模の大きなワークショップにも対応できるように工夫すること。
	体験展示室機能 （付属倉庫共）	土器や勾玉づくり、めかごづくりなどの体験講座を通して郷土の歴史を学ぶ。 また、蚕を育て繭をつくり糸をとるという養蚕の体験や、とった糸で反物を織り染めるなどの織物体験といった一連の体験を通して桑都八王子の養蚕・織物の歴史を学ぶ。 創造性を育み、ものづくりに興味を持つような場として、自分の発想や夢を実現できるメイカースペースの機能を提供する。 空き時間にセミナーや講座等、積極的な利用を図ること。 付属倉庫（10～20㎡）を設け、資材の保管および、体験教室講師の控室として利用する。 常時まゆ人形キット等のキット販売をおこない、その場で作ることができる工作コーナーを設ける。	常設展示室に隣接、キッズコーナー隣接が望ましい。	清掃の容易な床仕上げ	工作に対応した流し台、蛇口18個、排水設備、換気確保。	工作台 （6人掛けx6～8台） 講師用工作台 1台	壁の一部にガラス等をはめ込み、展示室から内部の様子が見えるようにすること。 可動間仕切りを設け、キッズスペースの一部と連結して150㎡程度を確保できるようにして規模の大きなワークショップにも対応できるように工夫すること。

室名	①特徴・役割・使い方	②近接・隣接条件	③仕上げ	④設備・環境	⑤家具	⑥その他
郷土ラボ・レファレンス機能	郷土の歴史と現在を学習し、未来を創造するスペース。 市民や企業、大学などの多様な主体が参加・連携し、八王子の歴史・文化に関する研究や創造などの活動に利用する。調べ学習や研究成果発表に適切な空間整備をおこなう。また、図書検索端末を完備したレファレンス機能と、図書閲覧や調べ学習のためのスペースを確保し、映像端末や、壁面に市内のマップ、成果発表に必要なプロジェクター等を整備すること。 レファレンス関連図書を開架で閲覧可とする。 ミュージアムの司書が常駐し、主に郷土歴史に関するレファレンスサービスを行う。 注：郷土ラボ・レファレンスが体験展示室やキッズコーナーと一室となった場合には、「歴史郷土閲覧コーナー」として独立させ、図書の開架スペースと閲覧スペースを広げる。	活動が目にとまり、新たなメンバーの参加や活動の発展を促進するため、施設共用部から室内が見られるような演出が望ましい。  レファレンスにはミュージアムの司書が常駐することから、学芸員室・収蔵庫と行き来がしやすい配置とする。	なし	壁面に市域のマップを設置し成果発表等に効果的に利用できるよう工夫をすること。 ・ネットワーク環境整備。 ・コピー機を近接すること。 ・資料保存のため、レファレンスコーナーには外光や外気が直接入らないようにする。		可動パーティションで仕切った資料閲覧スペース、調べ学習スペース（談話スペース含む）を設ける。 資料閲覧スペースは司書が古地図等を広げて対応できるほどの空間を設けること。

室名	①特徴・役割・使い方	②近接・隣接条件	③仕上げ	④設備・環境	⑤家具	⑥その他
展示設備保管庫1	特別展示室等の展示用什器を保管する。展示資料の一時保管も行う。	特別展示室、荷解き室に隣接するのが望ましい。 バックヤードとの動線を確保する。	なし	展示室と同様の環境条件とする。		十分な断熱性能 資料保存のため、外光や外気が直接入らないようにする。
展示設備保管庫2	常設展示室用の什器類、とくに指定管理者の企画展実施中にテーマ展示ゾーンの展示ケースや展示造作物を保管する。	常設展示室②に隣接するのが望ましい。 特別展示室・企画展示室との動線も確保に配慮する。	なし	有機酸やアンモニア等、資料に有害な物質を低減した空気環境とする。		資料保存のため、外光や外気が直接入らないようにする。
【研究エリア】						
調査室 （写真スタジオ、資料整理含）	新規収集資料の調査分類、整理作業を行う。 周辺の照明に影響されない照明調節可能な写真撮影区画を設ける。	荷解き室、収蔵庫に隣接させる。	清掃の容易な床面	給湯設備、流し（流し台1個所蛇口2個所）を設置。 温湿度管理ができる空調設備（資料にあわせた最適な温湿度が保てるようにする） 有機酸やアンモニア等、資料に有害な物質を低減した空気環境		十分な断熱性能 資料保存のため、外光が直接入らないようにする。 外光は、遮光カーテンで遮れること。
学芸執務室機能	学芸員が日常の業務、調査研究等を行う	展示室近接し、研究用書庫と隣接することが望ましい。	なし	無線LANインターネット接続（職員用）		なし
研究用図書室機能	学芸員の調査に必要な資料を置く。学芸員執務室と1室としてもよい。	学芸員執務室に隣接することが望ましい。	なし	ハンドル可動式書架(W4500×D1000×H2100相当 5本)を設置する。		なし
活動展示室	木造舞台を設置し、獅子舞等各種の郷土芸能の上演、歴史講座や地域学習に関する講座を開催する。日本の伝統芸能に触れることもでき、且つ気軽に市民が発表できる場として、クラシックコンサートやコーラス、ミュージカル等、幅広く利用できる。  屋外（公園）と連続した利用ができるような計画とする。	外部と直接つながる搬入口を設ける。準備室（控室）、資材倉庫、照明・音響室隣接 搬入用トラックスペースを屋外とする場合は、庇等を設置する。	（都市） 要防音	木造舞台や室の使い方に合わせた音響・照明設備を整備する。 照明・音響コントロール盤、予備資材設置	椅子等の備品については、別添資料21「木造舞台概要資料」を参照とする。	木造舞台背面に通路スペースを設けること 屋外と連続した利用を想定しているため、展示室や収蔵庫等への防虫対策の一つとして、共用部に前室等を設置すること。
準備室機能①	出演者、講師のための準備・控室（個室）	舞台隣接、出演者が一般客と接するスペースを通らずに準備室入りできる動線を確保する。	なし	洗面（1基）・シャワーブース（1基）、給湯設備、舞台モニター	間仕切りカーテン、姿見	活動展示室の仕様に合わせて要調整（伝統芸能に特化するなら畳敷きにするなど）
準備室機能②	出演者、講師のための準備・控室（大部屋） 移動間仕切りで部屋を2分割できるようにする。	準備室①と同じ。	なし	洗面（2基）・シャワーブース（2基）、給湯設備、舞台モニター、移動間仕切り。 シャワーブース2基のうち1基は車いす対応とすること。	姿見	準備室①と同じ。
活動展示室倉庫	舞台に必要な資材、予備設備等を保管する	舞台隣接、外部からの搬出入動線を確保する。	なし	なし	なし	作業の音が漏れないように配慮すること。

室名	①特徴・役割・使い方	②近接・隣接条件	③仕上げ	④設備・環境	⑤家具	⑥その他
【屋外】						
屋外トイレ機能	公園利用者が利用する。 災害時は、簡易・携帯トイレ（トイレ処理袋）を使用できるようにする。なお、簡易トイレ等の防災備品（1日分の約2500個を想定）は市にて調達し、事業者にて適宜保管し運用することとする。			誰でもトイレを設ける（都福祉まちづくり条例）		
倉庫機能	催事等の備品を保管する（屋外トイレに併設して整備することも可）	主に公園を広域避難場所として利用する際の防災備品を保管する。				
大屋根広場	大屋根の下で、雨天時等でも飲食・物販・スポーツ・健康等の多種多様なイベントが開催ができるよう、全天候型の広場を整備する。					夜間の防犯対策のために、防犯カメラの設置を推奨するが、設置箇所は大屋根広場以外の場所からの監視も可とする。
防災倉庫機能	災害時用備蓄品を保管する。 車両の動線に配慮する。（4tトラックを想定） 別棟単独の部屋とせずに施設の一般倉庫と共用としてもよい。  備蓄品の調達・管理は、本市（防災課）が行う。 災害時は市が運用を行う。  市指定の鍵を使用すること。  車両の動線に配慮し、寄付しが可能な配置とする。（4tトラックを想定）	独立または本体建物に近接して整備する。 独立の場合は、敷地分割することとし、景観に配慮した建物とする。 一時滞在施設用倉庫との合体も可能だが、内部で境界が分かる様にすること。 車両動線から倉庫への搬入を考慮し出入口を設ける。				収納棚は、「別添資料31 他施設の防災倉庫の棚仕様」に基づき設置する。 運用に先立ち、事業者において倉庫内の見取図を作成し、本市防災課に提出すること。

室名		基本的性能									建築								
		面積（㎡）	天井高（m）	耐火	防犯	飲食	監視カメラ	音環境	重要文化財対応	空気清浄度	一時滞在施設想定スペース	二重床	床荷重	床仕上げ	壁仕上げ	天井仕上げ	カーテンブラインド	ビクチャールール	備考
					1：来館者・職員・関連業者 2：職員・関連業者 3：職員・関連業者（出入り制限可） 4：限られた職員			I：特に高い静音性 II：高い静穏音性 III：一般事務室程度	「国宝・重要文化財の公開に関する取扱要項」「文化財公開施設の計画に関する指針」に記載の文化財の取扱いを行う。 ※「○」の無い場合でも、施設設計画上、該当室の機能を成立させるために必要な場合は対応を要する。	アンモニア：30ppb以下 酢酸：170ppb以下 ギ酸：10ppb以下 ホルムアルデヒド：80ppb以下 アセトアルデヒド：30ppb以下	以下は市の想定であるが、事業者にて適切に設置すること		構造設計指針（平成30年4月 東京都財務局）表4. 2積載荷重						
憩いライブラリ交流スペース																			
【ライブラリエリア】		1200																	
受付機能		適宜			2		－	－				－	(2)	－	－	－	○		
開架エリア共通機能		適宜			1		－	－				－	(12)				○		
	閲覧コーナー（小さい子用）																		
	閲覧コーナー																	○	
	朗読コーナー（おはなしスペース）																		
自習スペース機能①		適宜			1	×	－	II				○	－	(5)その他			・滑りにくいもの ・靴音が響きにくいもの ・転倒時の安全に配慮したもの		
図書仕分室機能		適宜			1	×	－	－				－	(12)	－	－	－	○		

室名	基本的性能										建築							
	面積（㎡）	天井高（m）	耐火	防犯	飲食	監視カメラ	音環境	重要文化財対応	空気清浄度	一時滞在施設 想定スペース	二重床	床荷重	床 仕上げ	壁 仕上げ	天井 仕上げ	カーテン ブラインド	ビク チャールール	備考
				1：来館者・職員・関連業者 2：職員・関連業者 3：職員・関連業者（出入り制限可） 4：限られた職員			I：特に高い静音性 II：高い静穏音性 III：一般事務室程度	「国宝・重要文化財の公開に関する取扱要項」「文化財公開施設の計画に関する指針」に記載の文化財の取扱いを行う。 ※「○」の無い場合でも、施設計画上、該当室の機能を成立させるために必要な場合は対応を要する。	アンモニア：30ppb以下 酢酸：170ppb以下 ギ酸：10ppb以下 ホルムアルデヒド：80ppb以下 アセトアルデヒド：30ppb以下	以下は市の想定であるが、事業者にて適切に設置すること		構造設計指針（平成30年4月 東京都財務局）表4.2積載荷重						
バックヤード機能	適宜			2	×	－	－				－	(10)	－	－	－	○		
【交流エリア】	1900 （来館者エリア含む）																	
エントランス （フリースペース）	適宜			1		－	－			○	－	(7) (= (5) その他)	・滑りにくいもの	－	－	－		
自習スペース機能② （テレワーク・コワーキングスペース含）	適宜			1	×	（密閉容器の飲み物は○）	－	II			－	(5) その他	・滑りにくいもの ・靴音が響きにくいもの ・転倒時の安全に配慮したもの	－	－	○		
ボランティア室機能	適宜			1	○	－	－			○	－	(5) その他	－	－	－	○		
スタジオ機能①	適宜			1	×	－	II			○	－	(5) その他	防音に配慮する	ダンス練習等で使える様、壁の一面を鏡張りにする。なお、鏡は隠せるようにする。	防音に配慮する	○ （暗幕）		
スタジオ機能②	適宜			1	○	－	II			○	－	(5) その他	－	直接プロジェクターを投影できるような壁にする。	－	○ （暗幕）		
カフェ機能 （調理スペース含）	適宜			1		－	－				－	(5) その他	－	－	－	○	○	
【来館者エリア】																		
風除室	適宜			1		－	－				－	(7) (= (5) その他)	・滑りにくいもの	－	－	－		
受付	適宜			1	×	－	－			○	－	(2)	－	－	－	－		

室名	基本的性能										建築							
	面積（㎡）	天井高（m）	耐火	防犯	飲食	監視 カメラ	音環境	重要文化財対応	空気清浄度	一時滞在施設 想定スペース	二重 床	床荷重	床 仕上げ	壁 仕上げ	天井 仕上 げ	カーテン ブラインド	ビク チャー レール	備考
			1：来館者・職員・関連業者 2：職員・関連業者 3：職員・関連業者 （出入り制限可） 4：限られた職員			I：特に高い静音性 II：高い静穏音性 III：一般事務室程度	「国宝・重要文化財の公開に関する 取扱要項」「文化財公開施設の計画 に関する指針」に記載の文化財の取 扱いを行う。 ※「○」の無い場合でも、施設計画 上、該当室の機能を成立させるため に必要な場合は対応を要する。	アンモニア：30ppb以下 酢酸：170ppb以下 ギ酸：10ppb以下 ホルムアルデヒド：80ppb以下 アセトアルデヒド：30ppb以下	以下は市の想定である が、事業者にて適切に 設置すること		構造設計指針（平成30 年4月 東京都財務局） 表4.2積載荷重							
コインロッカー	適宜			1	×	－	－				－	(5)その他	－	－	－			
エレベータホール	適宜			1	×	－	－				－	(7) (= (5) その他)	－	－	－			
来館者トイレ	適宜			1	×	－	－				－	(5)その他	・滑りにくいもの ・転倒時の安全に配慮 したもの	－	－	－		
子供用トイレ	適宜			1	×	－	－				－	(5)その他	〃	－	－	－		
多目的トイレ	適宜			1	×	－	－				－	(5)その他	〃	－	－	－		
乳幼児に対する休憩室及 び授乳室機能	適宜			1		－	－				－	(5)その他	・掃除が容易なもの ・乳児及び安全面に配 慮する ・滑りにくいもの	－	－	○		
更衣室機能	適宜		1	×	×	－				○			掃除が容易なもの					
【職員エリア】	1600 （事業者提 案余地を除 く）																	
会議室兼応接室	-			2		－	II				○ (0A)	(2)	－	－	－	○	○	

室名	基本的性能										建築							
	面積（㎡）	天井高（m）	耐火	防犯	飲食	監視 カメラ	音環境	重要文化財対応	空気清浄度	一時滞在施設 想定スペース	二重床	床荷重	床 仕上げ	壁 仕上げ	天井 仕上げ	カーテン ブラインド	ビク チャー レール	備考
				1：来館者・職員・関連業者 2：職員・関連業者 3：職員・関連業者 （出入り制限可） 4：限られた職員			I：特に高い静音性 II：高い静穏音性 III：一般事務室程度	「国宝・重要文化財の公開に関する 取扱要項」「文化財公開施設の計画 に関する指針」に記載の文化財の取 扱いを行う。 ※「○」の無い場合でも、施設計画 上、該当室の機能を成立させるため に必要な場合は対応を要する。	アンモニア：30ppb以下 酢酸：170ppb以下 ギ酸：10ppb以下 ホルムアルデヒド：80ppb以下 アセトアルデヒド：30ppb以下	以下は市の想定である が、事業者にて適切に 設置すること		構造設計指針(平成30 年4月 東京都財務局) 表4.2積載荷重						
事務室 （作業室、ワークスペース 含）	190			2		—	Ⅲ				○ (0A)	(2)	—	—	—	○	○	
資材庫	適宜			2	×	—	—				—	(1 1)	—	—	—	—		
更衣室（男女）	適宜			2	×	—	—				—	(2)	—	—	—	○		
給湯室	適宜			2	×	—	—				—	(2)	—	—	—	—		
トイレ	適宜			2	×	—	—				—	(2)	—	—	—	—		
警備員控室	適宜			2		—	—				—	(2)	—	—	—	○		
清掃員控室	適宜			2		—	—				—	(2)	—	—	—	○		
清掃用具倉庫	適宜			2	×	—	—				—	(2)	—	—	—	—		
ごみ集積所	適宜			2	×	—	—				—	(1 1)	—	—	—	—		
管理用廊下	適宜			2	×	—	—				—	(7) (= (2))	—	—	—	○		
屋外用倉庫	適宜			2	×	—	—				—	(1 1)	—	—	—	—		
防災倉庫 （一時滞在施設用）	40㎡			2	×	—	—				—	(1 1)	—	—	—	—		
倉庫	適宜			2	×	—	—				—	(1 1)	—	—	—	—		
設備関係諸室	適宜			2	×	—	—				—	(9) (実情に応じて算定)	—	—	—	—		
事業者提案余地	300㎡									○								



室名		基本的性能									建築								
		面積（㎡）	天井高（m）	耐火	防犯	飲食	監視カメラ	音環境	重要文化財対応	空気清浄度	一時滞在施設想定スペース	二重床	床荷重	床仕上げ	壁仕上げ	天井仕上げ	カーテンブラインド	ビクチャールール	備考
					1：来館者・職員・関連業者 2：職員・関連業者 3：職員・関連業者（出入り制限可） 4：限られた職員			I：特に高い静音性 II：高い静穏音性 III：一般事務室程度	「国宝・重要文化財の公開に関する取扱要項」「文化財公開施設の計画に関する指針」に記載の文化財の取扱いを行う。 ※「○」の無い場合でも、施設計画上、該当室の機能を成立させるために必要な場合は対応を要する。	アンモニア：30ppb以下 酢酸：170ppb以下 ギ酸：10ppb以下 ホルムアルデヒド：80ppb以下 アセトアルデヒド：30ppb以下	以下は市の想定であるが、事業者にて適切に設置すること		構造設計指針（平成30年4月 東京都財務局）表4.2積載荷重						
歴史・郷土ミュージアム		3000																	
【収蔵エリア】		715																	
収蔵庫 共通			4.1以上		4	×	○	—	○	○		—	(11)				—		
	収蔵庫① （特別収蔵庫）	適宜		○								○			吸湿性のあるもの				
	収蔵庫② （収蔵庫）	適宜		○											〃				
	収蔵庫③ （収蔵庫）	適宜		○											〃				

室名		基本的性能										建築							
		面積（㎡）	天井高（m）	耐火	防犯	飲食	監視カメラ	音環境	重要文化財対応	空気清浄度	一時滞在施設想定スペース	二重床	床荷重	床仕上げ	壁仕上げ	天井仕上げ	カーテン・ブラインド	ビクチャールール	備考
					1：来館者・職員・関連業者 2：職員・関連業者 3：職員・関連業者（出入り制限可） 4：限られた職員			I：特に高い静音性 II：高い静穏音性 III：一般事務室程度	「国宝・重要文化財の公開に関する取扱要項」「文化財公開施設の計画に関する指針」に記載の文化財の取扱いを行う。 ※「○」の無い場合でも、施設計画上、該当室の機能を成立させるために必要な場合は対応を要する。	アンモニア：30ppb以下 酢酸：170ppb以下 ギ酸：10ppb以下 ホルムアルデヒド：80ppb以下 アセトアルデヒド：30ppb以下	以下は市の想定であるが、事業者にて適切に設置すること		構造設計指針（平成30年4月 東京都財務局）表4. 2積載荷重						
	収蔵庫④（収蔵展示室）	適宜		○										・掃除が容易なもの	—	—			
	収蔵庫前室	適宜		○								○		吸湿性のあるもの					
	トラックヤード（屋内）	適宜			3	×	○	—	○			—	(6)	・水洗い可能なもの	—	—	—		
	荷解室	適宜			3	×	○	—	○			—	(6)	・掃除が容易なもの	—	—	—		

室名	基本的性能										建築							
	面積（㎡）	天井高（m）	耐火	防犯	飲食	監視カメラ	音環境	重要文化財対応	空気清浄度	一時滞在施設想定スペース	二重床	床荷重	床仕上げ	壁仕上げ	天井仕上げ	カーテン・ブラインド	ビクチャールール	備考
				1：来館者・職員・関連業者 2：職員・関連業者 3：職員・関連業者（出入り制限可） 4：限られた職員			I：特に高い静音性 II：高い静穏音性 III：一般事務室程度	「国宝・重要文化財の公開に関する取扱要項」「文化財公開施設の計画に関する指針」に記載の文化財の取扱いを行う。 ※「○」の無い場合でも、施設計画上、該当室の機能を成立させるために必要な場合は対応を要する。	アンモニア：30ppb以下 酢酸：170ppb以下 ギ酸：10ppb以下 ホルムアルデヒド：80ppb以下 アセトアルデヒド：30ppb以下	以下は市の想定であるが、事業者にて適切に設置すること		構造設計指針(平成30年4月 東京都財務局)表4.2積載荷重						
【展示エリア】																		
展示室 共通		4.1以上		1	×	○	II				○	(5)その他		—	—	—		

室名		基本的性能										建築							
		面積（㎡）	天井高（m）	耐火	防犯	飲食	監視カメラ	音環境	重要文化財対応	空気清浄度	一時滞在施設想定スペース	二重床	床荷重	床仕上げ	壁仕上げ	天井仕上げ	カーテン・ブラインド	ビクチャールール	備考
					1：来館者・職員・関連業者 2：職員・関連業者 3：職員・関連業者（出入り制限可） 4：限られた職員			I：特に高い静音性 II：高い静穏音性 III：一般事務室程度	「国宝・重要文化財の公開に関する取扱要項」「文化財公開施設の計画に関する指針」に記載の文化財の取扱いを行う。 ※「〇」の無い場合でも、施設計画上、該当室の機能を成立させるために必要な場合は対応を要する。	アンモニア：30ppb以下 酢酸：170ppb以下 ギ酸：10ppb以下 ホルムアルデヒド：80ppb以下 アセトアルデヒド：30ppb以下	以下は市の想定であるが、事業者にて適切に設置すること		構造設計指針(平成30年4月 東京都財務局)表4. 2積載荷重						
	常設展示室① (通史展示ゾーン)																		

室名		基本的性能									建築								
		面積（㎡）	天井高（m）	耐火	防犯	飲食	監視カメラ	音環境	重要文化財対応	空気清浄度	一時滞在施設 想定スペース	二重床	床荷重	床 仕上げ	壁 仕上げ	天井 仕上げ	カーテン ブラインド	ビク チャー レール	備考
					1：来館者・職員・関連業者 2：職員・関連業者 3：職員・関連業者 （出入り制限可） 4：限られた職員			I：特に高い静音性 II：高い静穏音性 III：一般事務室程度	「国宝・重要文化財の公開に関する取扱要項」「文化財公開施設の計画に関する指針」に記載の文化財の取扱いを行う。 ※「○」の無い場合でも、施設計画上、該当室の機能を成立させるために必要な場合は対応を要する。	アンモニア：30ppb以下 酢酸：170ppb以下 ギ酸：10ppb以下 ホルムアルデヒド：80ppb以下 アセトアルデヒド：30ppb以下	以下は市の想定であるが、事業者にて適切に設置すること		構造設計指針(平成30年4月 東京都財務局)表4.2積載荷重						
	常設展示室② （テーマ展示ゾーン）	1000																	
	特別展示室・企画展示室							○	○										
キッズスペース機能		300	3以上		1	×	－	－		○	－	(5)その他	－	－	－	○	○		
体験展示室機能 （付属倉庫共）					1	×	－	－		○	－	(5)その他	・掃除が容易なもの	－	－	○	○		

室名	基本的性能									建築								
	面積（㎡）	天井高（m）	耐火	防犯	飲食	監視 カメラ	音環境	重要文化財対応	空気清浄度	一時滞在施設 想定スペース	二重 床	床荷重	床 仕上げ	壁 仕上げ	天井 仕上 げ	カーテン ブラインド	ビク チャー レール	備考
			1：来館者・職員・関連業者 2：職員・関連業者 3：職員・関連業者 （出入り制限可） 4：限られた職員			I：特に高い静音性 II：高い静穏音性 III：一般事務室程度	「国宝・重要文化財の公開に関する 取扱要項」「文化財公開施設の計画 に関する指針」に記載の文化財の取 扱いを行う。 ※「○」の無い場合でも、施設計画 上、該当室の機能を成立させるため に必要な場合は対応を要する。	アンモニア：30ppb以下 酢酸：170ppb以下 ギ酸：10ppb以下 ホルムアルデヒド：80ppb以下 アセトアルデヒド：30ppb以下	以下は市の想定である が、事業者にて適切に 設置すること		構造設計指針（平成30 年4月 東京都財務局） 表4.2積載荷重							
郷土ラボ・レファレンス 機能				1	×	—	—	—	—	○	—	(12)	—	—	—	○	○	

室名	基本的性能										建築							
	面積（㎡）	天井高（m）	耐火	防犯	飲食	監視 カメラ	音環境	重要文化財対応	空気清浄度	一時滞在施設 想定スペース	二重 床	床荷重	床 仕上げ	壁 仕上げ	天井 仕上げ	カーテン ブラインド*	ビク チャー レール	備考
				1：来館者・職員・関連業者 2：職員・関連業者 3：職員・関連業者 （出入り制限可） 4：限られた職員			I：特に高い静音性 II：高い静穏音性 III：一般事務室程度	「国宝・重要文化財の公開に関する 取扱要項」「文化財公開施設の計画 に関する指針」に記載の文化財の取 扱いを行う。 ※「○」の無い場合でも、施設計画 上、該当室の機能を成立させるため に必要な場合は対応を要する。	アンモニア：30ppb以下 酢酸：170ppb以下 ギ酸：10ppb以下 ホルムアルデヒド*：80ppb以下 アセトアルデヒド*：30ppb以下	以下は市の想定である が、事業者にて適切に 設置すること		構造設計指針(平成30 年4月 東京都財務局) 表4.2積載荷重						
展示設備保管庫1	45			4 （展示資料の一時保管を行 うなら、レベル4が適切）	×	○	－	○	○		－	(11)	－	－	－	－		
展示設備保管庫2	45			3	×	－	－				－	(11)	－	－	－	－		
【研究エリア】																		
調査室 （写真スタジオ、資料整 理含）	65	4.1 以上		4	×	－	－				－	(2)	・掃除が容易なもの	－	－	○ （暗幕）	○	
学芸執務室機能	85			4		－	Ⅲ				－	(12)	－	－	－	○	○	
研究用図書室機能				4		－	－				－	(11)	－	－	－	○	○	
活動展示室	420			1	×	－	Ⅱ				－	(5)その他	・滑りにくいもの ・靴音が響きにくいもの ・転倒時の安全に配慮 したもの	防音に配慮		○ （暗幕）		
準備室機能①	85			2 （職員・演者・利用手続き をした人）		－	－				－	(2)	－	－	－	○		
準備室機能②				〃		－	－				－	〃	－	－	－	○		
活動展示室倉庫	適宜			2	×	－	－				－	(11)	－	－	－	－		

室名	基本的性能										建築							
	面積（㎡）	天井高（m）	耐火	防犯	飲食	監視 カメラ	音環境	重要文化財対応	空気清浄度	一時滞在施設 想定スペース	二重 床	床荷重	床 仕上げ	壁 仕上げ	天井 仕上 げ	カーテン ブラインド	ビク チャー レール	備考
				1：来館者・職員・関連業者 2：職員・関連業者 3：職員・関連業者 （出入り制限可） 4：限られた職員			I：特に高い静音性 II：高い静穏音性 III：一般事務室程度	「国宝・重要文化財の公開に関する 取扱要項」「文化財公開施設の計画 に関する指針」に記載の文化財の取 扱いを行う。 ※「○」の無い場合でも、施設計画 上、該当室の機能を成立させるため に必要な場合は対応を要する。	アンモニア：30ppb以下 酢酸：170ppb以下 ギ酸：10ppb以下 ホルムアルデヒド：80ppb以下 アセトアルデヒド：30ppb以下	以下は市の想定である が、事業者にて適切に 設置すること		構造設計指針（平成30 年4月 東京都財務局） 表4.2積載荷重						
【屋外】																		
屋外トイレ機能	適宜			1	×	○												・滑りにくいもの ・清掃しやすいもの
倉庫機能	適宜			2	×													
大屋根広場	500			1	○	○												
防災倉庫機能	120			2	×													



室名		電気設備															機械設備										
		照度 lx	演色性 Ra	一般 コンセント	特殊 機器 コンセント	非常電 源 (空調)	非常電源 (照明・コンセント)	TEL	LAN	館内放 送 音量調 節	TV	インター ホン呼出	映像・ 音響機 器	舞台 照明 音響	自火報	電気 時計	デジタル サイネー ジ	空調	夏季空調 (上：温度) (下：湿度)	冬季空調 (上：温度) (下：湿度)	換気	空調 間欠運転	空気 清浄度	給排水	給湯	漏水 対策	ガス 消火設 備
							※廊下・階段で 外部出入口から 対象室に至る ルートは照明： 20%を点灯		職員： 有線LAN 来館者： 公衆無線LAN	※免除 規定が 適用さ れる場 合は省 略可					△免除 規定が 適用さ れる場 合は省 略可			「○」の無い廊下・ バックヤードやWC等 についても、他室空調の カスケード利用など により良好な温熱環境を 保つ				I（一般開館時間） II（施設管理時間） III（24時間）	下表に よる				
憩いライブラリ 交流スペース																											
【ライブラリエリア】																											
受付機能		500	－	○	○ (図書システム用)			○	○ (職員)	○					○	○		○			○		Ⅲ	－	－	－	－
開架エリア共通機能		500	－	○					○ (職員) (来館者)	○					○	○		○			○		Ⅲ	－	－	－	－
	閲覧コーナ (小さい子用)																										
	閲覧コーナ																										
	朗読コーナ (おはなしスペース)																										
自習スペース機能①		500	－	○					○ (来館者)	○					○			○			○		Ⅲ	－	－	－	－
図書仕分室機能		500	－	○					○ (職員) (来館者)	○					○			○			○		Ⅲ	－	－	－	－

室名	電気設備																機械設備										
	照度 lx	演色性 Ra	一般 コンセント	特殊 機器 コンセント	非常電 源 (空調)	非常電源 (照明・コンセント)	TEL	LAN	館内放 送 音量調 節	TV	インターホ ン トイ ル呼出	映像・ 音響機 器	舞台 照明 音響	自火報	電気 時計	デジタル サイネー ジ	空調	夏季空調 (上：温度) (下：湿度)	冬季空調 (上：温度) (下：湿度)	換気	空調 間欠運転	空気 清浄度	給排水	給湯	漏水 対策	ガス 消火設 備	
						※廊下・階段で 外部出入口から 対象室に至る ルートは照明： 20%を点灯		職員： 有線LAN 来館者： 公衆無線LAN	※免除 規定が 適用さ れる場 合は省 略可					△免除 規定が 適用さ れる場 合は省 略可			「○」の無い廊下・ バックヤードやWC等 についても、他室空調の カスケード利用などにより 良好な温熱環境を保つ				I（一般開館時間） II（施設管理時間） III（24時間）	下表による					
バックヤード機能	300	－	○	○ (図書システム用)			○ (職員)	○						○						○		Ⅲ	－	－	－	－	
【交流エリア】																											
エントランス (フリースペース)	500	－	○	○ 展示用 に対応			○ (職員) (来館者)	○						○	○		○			○		Ⅲ	－	－	－	－	
自習スペース機能② (テレワーク・コワーキングスペース含)	500	－	○				○ (来館者)	○						○			○			○		Ⅲ	－	－	－	－	
ボランティア室機能	300	－	○				○ (来館者)	○						○			○			○		Ⅲ	○	○	－	－	
スタジオ機能①	500		○				○ (来館者)	○						○			○			○		Ⅲ	－	－	－	－	
スタジオ機能②	500	－	○				○ (来館者)	○				○		○			○			○		Ⅲ	－	－	－	－	
カフェ機能 (調理スペース含)	300	－	○				○ (来館者)	○						○			○			○		Ⅲ	○	○	－	－	
【来館者エリア】																											
風除室	500	－	○				○ (来館者)	○			○			○			○			－		－	－	－	－	－	
受付	500	－	○				○ (職員) (来館者)	○ (リフトマイク)						○			○			○		Ⅲ	－	－	－	－	

室名	電気設備																機械設備										
	照度 lx	演色性 Ra	一般 コンセント	特殊 機器 コンセント	非常電 源 (空調)	非常電源 (照明・コンセント)	TEL	LAN	館内放 送 音量調 節	TV	インターホ ン トイレ呼出	映像・ 音響機 器	舞台 照明 音響	自火報	電気 時計	デジタル サイネー ジ	空調	夏季空調 (上：温度) (下：湿度)	冬季空調 (上：温度) (下：湿度)	換気	空調 間欠運転	空気 清浄度	給排水	給湯	漏水 対策	ガス 消火設 備	
						※廊下・階段で 外部出入口から 対象室に至る ルートは照明： 20%を点灯		職員： 有線LAN 来館者： 公衆無線LAN	※免除 規定が 適用さ れる場 合は省 略可					△免除 規定が 適用さ れる場 合は省 略可			「○」の無い廊下・ バックヤードやWC等 についても、他室空調の カスケード利用など により良好な温熱環境を 保つ				I（一般開館時 間） II（施設管理時 間） III（24時間）	下表に よる					
コインロッカー	100	－	○						○						○						○		－	－	－	－	－
エレベータホール	150	－	○						○						○						○		－	－	－	－	－
来館者トイレ	200	－	○						※						○						○		－	○	－	－	－
子供用トイレ	200	－	○						※						△						○		－	○	－	－	－
多目的トイレ	200	－	○						※			○			△						○		－	○	－	－	－
乳幼児に対する休憩室及び授乳室機能	300	－	○						○ (来館者)			○			○						○		Ⅲ	○	○	－	－
更衣室機能		－	－																		○	Ⅲ	－	－	－	－	
【職員エリア】																											
会議室兼応接室	300	－	○				○	○ (職員)	○	○				○	○		○				○		Ⅲ	－	－	－	－

八王子駅南口集いの拠点整備・運営事業 各室諸元表【P28/36】

室名	電気設備																機械設備									
	照度 lx	演色性 Ra	一般 ｺﾝｾﾝﾄ	特殊 機器 ｺﾝｾﾝﾄ	非常電 源 (空 調)	非常電源 (照明・ｺﾝｾﾝﾄ)	TEL	LAN	館内放 送 音量調 節	TV	ｲﾝﾀｰﾎﾝ ﾄｲﾚ呼出	映像・ 音響機 器	舞台 照明 音響	自火報	電気 時計	デジタル サイネー ｼﾞ	空調	夏季空調 (上：温度) (下：湿度)	冬季空調 (上：温度) (下：湿度)	換気	空調 間欠運転	空気 清浄度	給排水	給湯	漏水 対策	ガス 消火設 備
						※廊下・階段で 外部出入口から 対象室に至る ルートは照明： 20%を点灯		職員： 有線LAN 来館者： 公衆無線LAN	※免除 規定が 適用さ れる場 合は省 略可					△免除 規定が 適用さ れる場 合は省 略可			「○」の無い廊下・ バックヤードやWC等 についても、他室空調 のカスケード利用など により良好な温熱環境 を保つ				I（一般開館時 間） II（施設管理時 間） III（24時間）	下表に よる				
事務室 （作業室、ワークスペース 含）	500	－	○			照明20% ｺﾝｾﾝﾄ 1以上	○	○ （職員）	○ AMP	○	○ （親）			○ （受信 機）	○ （親）		○			○		Ⅲ	－	－	－	－
資材庫	100	－	○						※					○						○		－	－	－	－	－
更衣室（男女）	200	－	○						※					○			○			○		Ⅲ	○	○	－	－
給湯室	200	－	○						※					○						○		－	○	○	－	－
トイレ	200	－	○						※					△						○		－	○	－	－	－
警備員控室	300	－	○				○	○ （職員）	○	○	○ （親）			○ （副受信 機）	○		○			○		Ⅲ	○	－	－	－
清掃員控室	300	－	○				○		○					○			○			○		Ⅲ	○	－	－	－
清掃用具倉庫	100	－	○						※					○			○			○		－	○	－	－	－
ごみ集積所	100	－	○						※					○						○		－	○	－	－	－
管理用廊下	150	－	○						○					○								－				
屋外用倉庫	100	－	○						※					○						○		－	－	－	－	－
防災倉庫 （一時滞在施設用）	100	－	○						※					○						○		－	－	－	－	－
倉庫	100	－	○						※					○						○		－	－	－	－	－
設備関係諸室	100	－	○	○ 機器用					○					○						○		－	－	－	－	－
事業者提案余地																										

室名		電気設備															機械設備											
		照度 lx	演色性 Ra	一般 コンセント	特殊 機器 コンセント	非常電源 （空調）	非常電源 （照明・コンセント）	TEL	LAN	館内放送 音量調節	TV	インターホン 呼出	映像・音響機器	舞台 照明 音響	自火報	電気 時計	デジタル サイネージ	空調	夏季空調 （上：温度） （下：湿度）	冬季空調 （上：温度） （下：湿度）	換気	空調 間欠運転	空気 清浄度	給排水	給湯	漏水 対策	ガス 消火設備	
							※廊下・階段で 外部出入口から 対象室に至る ルートは照明： 20%を点灯		職員： 有線LAN 来館者： 公衆無線LAN	※免除 規定が 適用される 場合は省略可					△免除 規定が 適用される 場合は省略可			「○」の無い廊下・ バックヤードやWC等について も、他室空調のカスケード利用 などにより良好な温熱環境を保 つ					I（一般開館時間） II（施設管理時間） III（24時間）	下表に よる				
歴史・郷土 ミュージアム																												
【収蔵エリア】																												
収蔵庫 共通																		○			○	Ⅲ	Ⅱ	－	－	○	○	
	収蔵庫① （特別収蔵庫）	100	－	○		○	照明20% コンセント 1以上	○	○ （職員）	○					○				温度：22±1℃ 湿度：50～60%									
	収蔵庫② （収蔵庫）	100	－	○		○	照明20% コンセント 1以上	○	○ （職員）	○					○				温度：22±2℃ 湿度：40～45%									
	収蔵庫③ （収蔵庫）	100	－	○		○	照明20% コンセント 1以上	○	○ （職員）	○					○				温度：18±2℃ 湿度：20～30%									

空気清浄度の分類		I	II	III
粉塵	[mg/m <sup>3</sup> ]	0.15以下	0.15以下	建築物環境衛生管理基準による
CO	[ppm]	10以下	10以下	
CO <sub>2</sub>	[ppm]	1000以下	1000以下	
VOC	[mg/m <sup>3</sup> ]	0.1以下	0.1以下	
NH <sub>3</sub> (アルカリ性物質)	[ppb]	30以下	30以下	
HCOH・CH <sub>3</sub> COH	[ppb]	30以下	80以下	
酢酸(有機酸)	[ppb]	40以下	170以下	
ギ酸(有機酸)	[ppb]	10以下	10以下	

室名		電気設備															機械設備										
		照度 lx	演色性 Ra	一般 コンセント	特殊 機器 コンセント	非常電 源 (空調)	非常電源 (照明・コンセント)	TEL	LAN	館内放 送 音量調節	TV	インターホ ン呼び出	映像・ 音響機 器	舞台 照明 音響	自火報	電気 時計	デジタル サイネー ジ	空調	夏季空調 (上：温度) (下：湿度)	冬季空調 (上：温度) (下：湿度)	換気	空調 間欠運転	空気 清浄度	給排水	給湯	漏水 対策	ガス 消火設 備
							※廊下・階段で 外部出入口から 対象室に至る ルートは照明： 20%を点灯		職員： 有線LAN 来館者： 公衆無線LAN	※免除 規定が 適用さ れる場 合は省 略可					△免除 規定が 適用さ れる場 合は省 略可			「○」の無い廊下・ バックヤードやWC等 についても、他室空調の カスケード利用など により良好な温熱環境を 保つ				I（一般開館時 間） II（施設管理時 間） III（24時間）	下表に よる				
	収蔵庫④ （収蔵展示室）	100	－	○	○	照明20% コンセント 1以上	○	○ （来館者）	○					○					温度：22±2℃ 湿度：40～50%								
	収蔵庫前室	100	－	○			○	○ （職員）	○					○					温度：22±5℃ 湿度：40～50%								
トラックヤード （屋内）		150	－	○					○		○			○							○			○ （屋外 にも必要）	－	－	－
荷解室		150	－	○			○		○					○				○			○			－	－	－	－

室名	電気設備															機械設備										
	照度 lx	演色性 Ra	一般 コンセント	特殊 機器 コンセント	非常電 源 (空 調)	非常電源 (照明・コンセント)	TEL	LAN	館内放 送 音量調 節	TV	インター ネット呼出	映像・ 音響機 器	舞台 照明 音響	自火報	電気 時計	デジタル サイネー ジ	空調	夏季空調 (上：温度) (下：湿度)	冬季空調 (上：温度) (下：湿度)	換気	空調 間欠運転	空気 清浄度	給排水	給湯	漏水 対策	ガス 消火設 備
						※廊下・階段で 外部出入口から 対象室に至る ルートは照明： 20%を点灯		職員： 有線LAN 来館者： 公衆無線LAN	※免除 規定が 適用さ れる場 合は省 略可					△免除 規定が 適用さ れる場 合は省 略可			「○」の無い廊下・ バックヤードやWC等 についても、他室空調の カスケード利用など により良好な温熱環境を 保つ				I（一般開館時 間） II（施設管理時 間） III（24時間）	下表に よる				
【展示エリア】		－																								
展示室 共通	200	90	○			照明20% コンセント 1以上	○	○ (来館者)	○					○			○			○		II	－	－	○	○

室名		電気設備															機械設備										
		照度 lx	演色性 Ra	一般 コンセント	特殊 機器 コンセント	非常電 源 (空調)	非常電源 (照明・コンセント)	TEL	LAN	館内放 送 音量調 節	TV	インター ネット 呼び出	映像・ 音響機 器	舞台 照明 音響	自火報	電気 時計	デジタル サイネー ジ	空調	夏季空調 (上：温度) (下：湿度)	冬季空調 (上：温度) (下：湿度)	換気	空調 間欠運転	空気 清浄度	給排水	給湯	漏水 対策	ガス 消火設 備
							※廊下・階段で 外部出入口から 対象室に至る ルートは照明： 20%を点灯		職員： 有線LAN 来館者： 公衆無線LAN	※免除 規定が 適用さ れる場 合は省 略可					△免除 規定が 適用さ れる場 合は省 略可			「〇」の無い廊下・ バックヤードやWC等につ いても、他室空調の カスケード利用などによ り良好な温熱環境を保つ				I（一般開館時 間） II（施設管理時 間） III（24時間）	下表に よる				
	常設展示室① (通史展示ゾーン)																		24℃±2 55±5%	22℃±2 55±5%							



室名		電気設備															機械設備										
		照度 lx	演色性 Ra	一般 コンセント	特殊 機器 コンセント	非常電 源 (空 調)	非常電源 (照明・コンセント)	TEL	LAN	館内放 送 音量調 節	TV	インターホン トル呼出	映像・ 音響機 器	舞台 照明 音響	自火報	電気 時計	デジタル サイネー ジ	空調	夏季空調 (上：温度) (下：湿度)	冬季空調 (上：温度) (下：湿度)	換気	空調 間欠運転	空気 清浄度	給排水	給湯	漏水 対策	ガス 消火設 備
							※廊下・階段で 外部出入口から 対象室に至る ルートは照明： 20%を点灯		職員： 有線LAN 来館者： 公衆無線LAN	※免除 規定が 適用さ れる場 合は省 略可					△免除 規定が 適用さ れる場 合は省 略可			「○」の無い廊下・ バックヤードやWC等につ いても、他室空調の カスケード利用などによ り良好な温熱環境を保つ				I（一般開館時間） II（施設管理時間） III（24時間）	下表に よる				
	常設展示室② (テーマ展示ゾーン)																		24℃±2 55±5%	22℃±2 55±5%							
	特別展示室・ 企画展示室				○ 展示用 に対応	○													24℃±2 55±5%	22℃±2 55±5%							
	キッズスペース機能	300	－	○				○	○ (来館者)	○					○			○			○		II	－	－	－	－
	体験展示室機能 (付属倉庫共)	300	－	○				○	○ (来館者)	○					○			○			○		II	○	○	－	－

八王子駅南口集いの拠点整備・運営事業 各室諸元表【P34/36】

室名	電気設備															機械設備										
	照度 lx	演色性 Ra	一般 コンセント	特殊 機器 コンセント	非常電 源 (空調)	非常電源 (照明・コンセント)	TEL	LAN	館内放 送 音量調 節	TV	インター ホン呼出	映像・ 音響機 器	舞台 照明 音響	自火報	電気 時計	デジタル サイネー ジ	空調	夏季空調 (上：温度) (下：湿度)	冬季空調 (上：温度) (下：湿度)	換気	空調 間欠運転	空気 清浄度	給排水	給湯	漏水 対策	ガス 消火設 備
						※廊下・階段で 外部出入口から 対象室に至る ルートは照明： 20%を点灯		職員： 有線LAN 来館者： 公衆無線LAN	※免除 規定が 適用さ れる場 合は省 略可					△免除 規定が 適用さ れる場 合は省 略可			「○」の無い廊下・ バックヤードやWC等につ いても、他室空調の カスケード利用などに より良好な温熱環境を 保つ				I（一般開館時 間） II（施設管理時 間） III（24時間）	下表に よる				
郷土ラボ・レファレンス 機能	500	－	○				○	○ (来館者)	○					○			○			○		III	－	－	－	○

八王子駅南口集いの拠点整備・運営事業 各室諸元表【P35/36】

室名	電気設備																機械設備									
	照度 lx	演色性 Ra	一般 コンセント	特殊 機器 コンセント	非常電 源 (空調)	非常電源 (照明・コンセント)	TEL	LAN	館内放 送 音量調 節	TV	インターホ ン呼び出	映像・ 音響機 器	舞台 照明 音響	自火報	電気 時計	デジタル サイネー ジ	空調	夏季空調 (上：温度) (下：湿度)	冬季空調 (上：温度) (下：湿度)	換気	空調 間欠運転	空気 清浄度	給排水	給湯	漏水 対策	ガス 消火設 備
						※廊下・階段で 外部出入口から 対象室に至る ルートは照明： 20%を点灯		職員： 有線LAN 来館者： 公衆無線LAN	※免除 規定が 適用さ れる場 合は省 略可					△免除 規定が 適用さ れる場 合は省 略可			「○」の無い廊下・ バックヤードやWC等 についても、他室空調 のカスケード利用など により良好な温熱環境 を保つ				I（一般開館時 間） II（施設管理時 間） III（24時間）	下表に よる				
展示設備保管庫1	100	－	○					○						○			○	24℃±2 55±5%	22℃±2 55±5%	○	III	－	－	－	－	○ 展示資料の一時保管 も行うため
展示設備保管庫2	100	－	○					○						○			○	24℃±2 55±5%	22℃±2 55±5%	○		－	－	－	－	－
【研究エリア】																										
調査室 (写真スタジオ、資料整理含)	500	80	○				○	○ (職員)	○					○			○	24℃±2 55±5%	22℃±2 55±5%	○		II	○	○	－	○
学芸執務室機能	500	80	○			照明20% コンセント 1以上	○	○ (職員)	○					○			○			○		III	－	－	－	○
研究用図書室機能	500	80	○				○	○ (職員)	○					○			○			○		－	－	－	－	○
活動展示室	500	－	○					○ (来館者)	○				○	○						○		III	－	－	－	－
準備室機能①	300	－	○				○	○ (職員)	○					○						○		III	○	○	－	－
準備室機能②	300	－	○				○	○ (職員)	○					○						○		III	○	○	－	－
活動展示室倉庫	100	－	○					※						○						○		－	－	－	－	－

室名	電気設備																機械設備									
	照度 lx	演色性 Ra	一般 コンセント	特殊 機器 コンセント	非常電 源 (空 調)	非常電源 (照明・コンセント)	TEL	LAN	館内放 送 音量調 節	TV	インターホン トイレ呼出	映像・ 音響機 器	舞台 照明 音響	自火報	電気 時計	デジタル サイネー ジ	空調	夏季空調 (上：温度) (下：湿度)	冬季空調 (上：温度) (下：湿度)	換気	空調 間欠運転	空気 清浄度	給排水	給湯	漏水 対策	ガス 消火設 備
						※廊下・階段で 外部出入口から 対象室に至る ルートは照明： 20%を点灯		職員： 有線LAN 来館者： 公衆無線LAN	※免除 規定が 適用さ れる場 合は省 略可					△免除 規定が 適用さ れる場 合は省 略可			「○」の無い廊下・ バックヤードやWC等につ いても、他室空調の カスケード利用などに より良好な温熱環境を 保つ				I（一般開館時 間） II（施設管理時 間） III（24時間）	下表に よる				
【屋外】																										
屋外トイレ機能	200		○								○			△						△ 屋外で 出入口 の扉が 設置さ れてい ないな ど、換 気の必 要がな いと判 断され る場合 は不要			○			
倉庫機能																										
大屋根広場			○					○ (来館者)															○ イベント用			
防災倉庫機能																										